

# つがる市議会だより

9月定例会 の内容をお伝えします

第54号 平成29年11月発行



## おらほの新米さん

皆に愛される子どもに  
育ちますように...

一稲垣地区の新米パパとママ

藤田 賢さん、操希さん夫婦と昨年12月に生まれた長女莉里叶ちゃんです。周りのサポートがあるおかげもあって、育児が楽しいそうです。ミルクや離乳食の量など気になるので、同じ月齢の子を持つ親同士の集まりがあれば参加したいと話していました。

〈平成29年9月17日撮影〉



### ●●●目次●●●

- 2 定例会の概要
- 3 28年度決算の状況
- 4~7 一般質問 8 議員が市政を問う
- 8~9 予算・決算特別委員会の概要
- 10 議員研修会レポート
- 11 議会改革検討特別委員会レポート  
農業振興対策特別委員会レポート
- 12 クールつがる

# つがる市議会

## 9月定例会

会期17日間

9月4日～9月20日

今定例会の議案は

市長提出議案 …… 17件

諮問 …… 1件

※各議案は原案のとおり可決・承認・認定となり、諮問は適任とされました。  
全ての議案名は市のホームページをご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

議案の中から下記をピックアップ。  
その内容をお伝えします。

議案第79号 つがる市自転車駐車場条例の一部を改正する条例案

### 1 新たに陸奥森田駅に自転車駐車場が設置されます

市内各駅に設置されている自転車駐車場および新規に設置する自転車駐車場について、その所管を明らかにし、管理を適正に行うため改正するものです。

#### 駐車場の名称

- ・木造駅自転車駐車場
- ・中田駅自転車駐車場
- ・越水駅自転車駐車場
- ・陸奥森田駅自転車駐車場  
(平成29年11月1日施行)

#### 主な質問

**問** 新設の駐車場には、何台駐車できるのか。  
**答** 平均17台程度の利用があるため、若干余裕をみて20台分の整備をします。

#### 諮問

諮問2号

#### ◎人権擁護委員

次の方が適任とされました。  
佐藤 修子(新任・柏) 任期  
平成30年1月1日から  
平成33年12月31日まで

議案第80号 つがる市附属機関設置条例の一部を改正する条例案

### 2 史跡亀ヶ岡石器時代遺跡の史跡追加指定を目指します

◇史跡亀ヶ岡石器時代遺跡等調査指導委員会を設置します。

亀ヶ岡石器時代遺跡は、原始美術の極致と言われる「遮光器土偶」が発見されたことなどから、昭和19年に史跡指定を受け、その後の調査では縄文晩期の竪穴住居跡や土坑墓等が史跡周辺で発見されています。

これらの史跡指定に必要な総括報告書を作成するために、発掘調査の実施や発見された遺跡が史跡としてふさわしいか等、様々な角度から審議を行います。



国の重要文化財に指定されている遮光器土偶(レプリカ)

#### 主な質問

**問** どのようなメンバーで構成されるのか。  
**答** 遺跡調査等の専門で権威のある早稲田大学、弘前大学、慶応大学の教授等で構成されます。

## 平成28年度一般会計決算の状況

※1万円未満四捨五入

収入	264億8,235万円
支出	259億1,562万円
繰越金（翌年度へ繰り越したお金）	1,729万円
実質収支（残ったお金）	5億4,944万円

### 平成28年度の主な事業

●車力統合小学校グラウンド整備事業	1億3,003万円
●道の駅もりた農産物直売施設等整備事業	1億9,638万円
●公営住宅整備事業	3億5,309万円
●臨時福祉給付金（経済対策分）給付事業	1億6,121万円

9月定例会では平成28年度各会計の歳入歳出決算について、全議員による予算・決算特別委員会で審査し、いずれも認定すべきものと決定しました。

# 平成二十八年度 各会計決算を認定

**一般会計 市民一人あたりの支出 774,340円** 小数点以下四捨五入

人口 33,468人（平成29年3月末現在 外国人を含む）で単純に算出したものです。

## 平成28年度一般会計予算はこのように使われました。

平成28年度一般会計決算額を市民一人あたりでみた場合、市民の皆さんが負担した市税（市民税・固定資産税など）は73,166円で、市民の皆さんのために使われた予算は774,340円になりました。この差額は、地方交付税はじめ国・県などからの補助金等で賄われています。

### 各項目を一人あたりの支出に換算すると

パーセンテージについては端数調整をしています。

福祉・社会保障のために <b>210,620円</b>  <b>27.2%</b>	教育などのために <b>106,084円</b>  <b>13.7%</b>	道路などの整備に <b>66,593円</b>  <b>8.6%</b>	保健や環境衛生などに <b>76,660円</b>  <b>9.9%</b>	消防・防災対策などに <b>42,589円</b>  <b>5.5%</b>
農業・商工・観光振興などに <b>60,399円</b>  <b>7.8%</b>	議会運営のために <b>6,195円</b>  <b>0.8%</b>	その他のサービスなどに <b>81,306円</b>  <b>10.5%</b>	基金（預金）積み立てに <b>17,810円</b>  <b>2.3%</b>	公債費（借入金の返済）に <b>106,084円</b>  <b>13.7%</b>

## 平成28年度特別会計決算の状況

※1万円未満四捨五入（端数調整をしています。）

区分	収入	支出	繰越金	実質収支
農業集落排水事業	6億2,284万円	6億2,172万円	0	112万円
公共下水道事業	7億7,870万円	7億7,765万円	0	105万円
国民健康保険	63億6,760万円	61億6,649万円	0	2億111万円
後期高齢者医療	6億7,197万円	6億6,926万円	0	271万円
介護保険	44億3,308万円	44億2,486万円	0	822万円

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



芳政会 成田 克子

- 病後時保育利用料等を無料化へ拡充しては
- ボルダリングやBMX競技ができる環境整備をしては
- あおもり子育て応援パスポートの普及を

**問** 子育て世代にアンケート調査を行ったところ、病後時保育利用料(一回につき千円)、児童クラブ負担金等(おやつ代を含め約4千円)の無料化を望む声が多く、家計の負担となっていないことから無料化を実施できないか。

**答** 病気の回復期にある児童を預かる病後時保育事業は、満1歳から小学6年生までを対象とし、柏地区の施設において、看護師1人、保育士1人の配置で実施しております。保護者の負担軽減を考慮し、市内の施設を利用した場合の病後時保育利用料の無料化を、今年度中に進めてまいります。

児童クラブ負担金等については、平成28年度実績から積算すると1300万円の財源が必要になります。無料化が実施されると、登録者が増加し、それに伴う指導員の増員や、施設の見直しなど新たな費用が想定されます。つがる市では「中学生までの医療費無料化」や「保育料第2子完全無料化」などの子育て支援を実施していることから、総合的に判断していく考えです。

**問** 子どもから大人まで楽しめるボルダリングやBMXといった最新ス

ポーツができる環境を「イオンモールつがる柏」内に整備できないか。

**答** 市のスポーツ振興施設や健康体力づくりの拠点施設で、ボルダリングなどの競技が可能か検討してまいります。

**問** あおもり子育て応援パスポート事業は、周知不足と感じるが。

**答** これは県の事業で18歳未満の子がいる家庭または妊娠中の方がいる家庭を対象に、協賛店による商品の割引やベビーカーの貸し出しなどがあります。妊娠届や乳幼児健診の際チラシを配布しておりますが、今後はホームページ等にも掲載し、より多くの方への周知を図りたいと考えております。

**問** あおもり子育て応援パスポートを市が代理で申請できないか。

**答** 出生届時のサービスの一環として、早速取り組みたいと考えております。



無所属 長谷川 榮子

- 総合体育館の建設目的は
- イベントの更なる向上を
- 投票所見直しの進捗状況は

**問** 総合体育館の建設目的は。国体競技の開催に取り組んでいるがその後の活用は。

**答** 多様化する学習ニーズに対応した環境整備、健康づくりと市民交流の活性化を図ることを目的としております。国体終了後は、全国規模の大会やプロスポーツの試合会場、災害時の防災拠点施設としての運用も考えております。

**問** 建設費にかかる一般財源は。上記のとおり。

**答** 建設費にかかる一般財源は、

総合体育館建設事業費		
概算事業費 約47億1,400万円		
国庫補助金	地方債	一般財源
10億4,000万円	36億1,340万円	6,060万円
	普通交付税算入	地方債の還(市の返済分)
	25億2,938万円	10億8,402万円
		実質的な市の負担
		11億4,462万円

**問** メロン・スイカフェスティバルの盛況を伺う。

**答** 市内外からも注目を集め、来場者は約7000人で過去最高の盛況だったと感じております。ごしよつがる農協、つがるに生きた農協、屏風山蔬菜(そさい)生産組合と協議し、メロン・スイカの確保に努めたほか、

両農協で設立した、つがるメロン協議会が一体となり販売したことで新たな販売体制が構築されました。試験的に販売したスイーツが早々に完売したため、今後はスイーツも目玉の一つとなるよう販売ブースの拡張など実施していきたいと考えております。

**問** 全国メロンサミットをつがる市で開催しては。

**答** イベント会場や参加者の宿泊施設が必要となるため、関係団体と協議しながら検討したいと思っております。

**問** 宿泊施設が不足していることについて市長の考えは。

**答** 現在、つがる地球村で客室の改修工事を行っており、来年は柏口マシナ荘についても検討し、徐々に宿泊施設を整備していきたいと思っております。

**問** 投票所見直しの進捗状況は。

**答** 今年度49投票所を木造地区6投票所、森田地区2投票所、柏地区2投票所、稲垣地区3投票所、車力地区3投票所の計16投票所に、集約する計画です。前回イオンモールつがる柏に開設した期日前投票所が好評だったため、共通投票所としての開設も計画していく考えです。

715

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



無所属 松橋 勝利

**問** 過去にも質問しているが、消防再編計画の進捗状況は。

**答** 「つがる市消防署再編統合計画策定審議会」からの答申を受け北消防署（仮称）、稲垣分遣所（仮称）について建設予定候補地の選定作業を進めています。

**問** つがる市消防署車力分署の老朽化が著しく、早急な対応を望む。

**答** 北消防署の建設候補地としては牛瀧町、車力町、豊富町を中心に選定、建設条件等の比較をし、9月議会終了後、関係各位、地元住民への提示を考えております。稲垣分遣所も同様に候補地の建設条件の比較後、順次提示したい考えです。

**問** 再編計画について、スピード感がない。市長部局の考えは。

**答** 合併前から5署あった消防署を減らす作業には地域の理解と協力が必要であり、再編計画も最終的な決定まで10年近く時間を要しましたが、今後、候補地選定作業等、スピード感を持って取り組みます。消防署建設等の補助金は新規に防衛省等の採

●消防署再編計画の進捗状況は

択がされるまで事前協議、本要望と最低でも3年かかりますが、それまでは現在ある車力分署を補強などで継続的に運用できるように努めてまいります。



車力分署



絆心会 野呂 司

**問** 税込交付税が減少傾向にある中、ふるさと納税（寄附金）は、地方自治体の増収対策である。つがる市のふるさと納税の実績が、平成27年度1609万円から平成28年度3162万円と大幅に増えたが、考えられる理由は。

**答** 平成27年6月に導入したインターネットサイト「ふるさとチョイス」を利用した申込みの受付や返礼品を拡充した効果と考えます。

**問** 寄附金から経費を差し引いた黒字額は、つがる市民がほかの自治体に寄附したことによる減収額は。

**答** 経費約805万円を引いた2357万円が黒字額となります。つがる市からほかの自治体へ寄附した人は58人、寄附金額は約238万円あり、市民税控除額の約116万円が減収額となります。

**問** 寄附金の使い道は選べるのか。

**答** ①農業振興②まつり・イベントの充実③歴史的遺産、文化財の保全・整備④子育て支援⑤観光振興のいずれかを選択できるようにしており、幅広い分野で活用しております。

●ふるさと納税の積極的なPRを

**問** 魅力ある返礼品、記念品などを増やしては。

**答** 今年度から6次産業化で開発した商品の詰合せセットを取り扱っています。つがるブランドのスイカ、ゴボウ、ネギを早急に導入したいと考えているほか、市への滞在、体験型宿泊券などは換金防止策も含めながら検討をしております。「ふるさとチョイス」で目を引くような広告掲載写真やコメントを工夫し、PRしたいと考えております。

**問** 黒字額がトップの自治体は、特産品の商品開発等が雇用拡大にもつながり、地域の活性化に役立っている。つがる市の考えは。

**答** 返礼品は農産物を中心としているため、すぐに増産することは難しく雇用拡大には至りませんが、農家の所得向上、地域活性化につながるよう取り組んでまいります。



詰合せセット

## 審議会からの答申内容

現状

1本部	・消防本部
1署	・つがる市消防署
3分署	・森田、稲垣、車力
1分遣所	・柏

予定

1本部	・消防本部
2署	・つがる市消防署 ・北消防署（仮称）
1分遣所	・稲垣分遣所（仮称） ※救急車のみ配置

統合により生じる課題の対応として、高機能消防指令センターの活用などで迅速な体制の構築を図る。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



五和会 成田 博

**問** 平成28年度の決算で普通財産の建物、土地の面積が減少している理由は。

**答** 建物については、森田栄田集会所敷地内の屋外公衆使用所の廃棄処分によるものです。土地については、財産台帳の整備により旧川除駐在所用地の錯誤が確認されたものです。

**問** 廃校となった校舎や旧成人病センター跡地の活用予定は。

**答** 活用計画のない廃校となった校舎などは賃貸借または売却の考えです。広報つがる8月号とホームページに売却可能用地8カ所を掲載し、現地には売地の看板を設置しております。旧成人病センター跡地は冬期間雪捨て場として使用していますが、今後は公共施設の建設候補地となる可能性もあるので、協議していきたいと考えております。

**問** 国庫補助金によって整備された施設は、補助金適正化法により売却等に制限があるが、補助金の返還が生じても処分したほうがよい場合もあるのでは。

**答** つがる市公共施設等総合管理計

● 普通財産の効果的な処分を  
● 防衛システムの設置要請はあるか

画の基本方針に基づき、国庫補助金の返還になる施設の売却、解体等も視野に入れ、状況に応じて進めてまいります。

**問** 地域で廃校などの施設を利用する場合、価格を緩和できないか。

**答** 土地建物売却については、固定資産税評価額、不動産鑑定を行い、適正な価格で公売することとなります。譲渡では土地に価格がゼロの建物があれば、土地の価格から解体費を差し引いた有利な価格としております。賃貸借については、市の条例を準用し、土地は評価額の4%相当建物は8%相当で貸出しております。

**問** 車力分屯基地には迎撃ミサイルPAC3が配備されており、国ではイージス・アショア（陸上型イージスシステム）の導入が検討されているが、設置要請はあるか。

**答** 現在要請はありません。今後要請があった場合は、防衛省へ詳細な説明を求め、市議会議員、地元住民の意見を聞き、青森県と情報共有を図りながら対応するものと考えております。



無所属 齊藤 渡

**問** 農作物被害対策会議を設置した経緯と現時点の生育状況では農業共済の補償対象となるのかを聞く。

**答** 8月25日県主催の水稲稔実調査において、本市で不稔が確認されたため、対策会議の設置をしたものです。その後、県の生育調査では平年並みとされ、このまま天候が回復すれば農業共済の補償対象になる可能性は低いと考えられます。

**問** 平成30年の減反政策の見直しによる変更点は。

**答** 平成30年産から米の直接支払交付金が廃止され、国の数量配分もなくなり、このため米の過剰生産が予想されますので、青森県再生協議会が今までどおり数量配分をする予定です。ゲタ・ナラシ対策、水田活用の直接支払交付金制度等は今後も継続するものです。

**問** 生産調整に協力しないことを理由にカントリーエレベーターやリースセンターの利用制限が発生するか。

**答** 生産調整に協力しないことを理

● 農作物被害対策会議設置の経緯は  
● 減反政策見直しで変わることは  
● 部活動指導員の導入を

由とした施設の利用を制限することはありません。

**問** 共済保険と来年度から導入予定の収入保険との違いは。

**答** 共済保険は自然災害等による収量減少を補償するものですが、収入保険では、自然災害による収量減少のほか価格低下なども含めた収入減少を補償し、品目の限定はありません。加入には青色申告を行っていることが条件です。

**問** 高い専門性や能力を持つ部活動指導員を来年度から導入する考えはあるのか。スクールサポーターが兼職することは可能か。

**答** 部活動指導員の職務には、部活動に係る実技指導、安全・障害予防に関する知識・技能の指導、生徒指導に係る対応のほか学校外での活動の引率、部活動の管理運営などがあります。来年度、導入の予定はありませんが、他市町村の動向を鑑み、検討したい考えです。つがる市臨時任用職員管理規程によりスクールサポーターの兼職はできません。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



芳政会 三上 洋

**問** 市職員労働組合の組織率は、7月末現在で79・6%となっております。

**答** 当局と市職員労働組合で締結している36協定の内容は、

1 時間外労働勤務は1日5時間、1カ月40時間、1年360時間の範囲内とし、有効期間を1年として、毎年4月に契約の更新をしております。



### 36協定(サブロク協定)とは：

労働基準法36条に基づいた協定で、労働者法定労働時間(1日8時間、1週間40時間)を超えて労働させる場合や、休日労働をさせる場合には、あらかじめ労働組合と使用者で書面による協定を結び、労働基準監督署へ届け出なければなりません。

**問** 選挙投票日における選挙事務の勤務時間は、

**答** 投票従事者は13時間、開票従事者は4時間程度です。両方を兼ねる投票従事者は17時間程度になります。

- 市職員労働組合の組織率は時間外労働は適切に行われているか
- ストレスチェックは実施しているか

**問** 馬市まつりにおける勤務時間はどうなっているか。

**答** 勤務時間の長い職員で15時間となっております。

**問** 時間外手当を申請しにくい雰囲気はないか。予算はあるのか。

**答** 各所属長が勤務の内容を把握し、庶務担当者が漏れないよう総務課の給与担当者へ手続きしており、申請しにくい雰囲気ではありません。予算については、各課で1年間に必要とされる事務量、過去の実績を踏まえて財政当局に予算要求し、労働の対価が補償されるよう配慮しながら予算化が行われております。

**問** ストレスチェックは実施しているか。高ストレス者は何名か。

**答** ストレスチェックは、心理的な負担の程度を把握する検査で、昨年度より実施しております。判定結果は本人の同意がなければ総務課へ提供されませんが、470名のうち同意した職員は268名でした。高ストレス者は約10%にあたる28名で、希望者に限り医師との面接指導が行われます。



芳政会 伊藤 良二

**問** 体罰を無くすために行っている対策は、

**答** スポーツ活動をサポートする立場にある指導者は、体罰が決して許されない行為であると強く認識し、適切な指導をすべきと考えております。平成26年度に策定した「子供のスポーツ活動ガイドライン」をもとに定期的に指導者講習会を開催することで資質、能力の向上に努めていきます。今年度は10月17日に市内の全スポーツ指導者を対象とした講習会を開催いたします。

**問** つがる市総合体育館建設計画の内容は、

**答** 用地取得については、つがる市土地開発公社に依頼契約を締結しており、地権者への用地取得説明会を開催、全地権者から建設用地とすることに同意を得ています。今後は次のとおり計画を進める予定です。

今後の予定	全体基本構想計画及び基本設計
平成29年度	用地造成
平成30年度	体育館建設着工
平成31年度	体育館建設竣工
平成32年度	外構工事(完成)
平成33年度	
平成34年度	

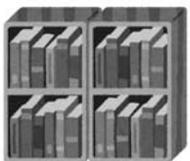
- 体罰を無くすための対策は総合体育館建設計画の内容は
- 図書館のさらなる充実を

**問** 図書館を通じての文化活動費を増やせないか。

**答** 市立図書館業務には文化活動事業は含まれていませんが、指定管理者である(株)図書館流通センターは、農業支援講座の開催、農業関連書籍の資料収集、図書館で調べる学習会を定期的に開催し、情報発信や学力向上のための取組みを図っております。そのほか毎週読み聞かせ会を行い、幼児教育にも力を入れているところです。活動費の増額は、今後の利用者のニーズや動向を見ながら検討したいと思っております。

**問** 閉館時間の午後8時を午後9時まで延長できないか。屋根付きの自転車置き場を設置できないか。

**答** 利用時間を延長した場合の経費利用満足度など考慮したところ、現在の閉館時間が適正と判断しております。屋根付きの自転車置き場については、現況と必要性、設置場所などを総合的に判断した上で検討したい考えです。



# 総括質疑

今定例会では、伊藤良二議員による総括質疑がありました。内容の一部を掲載します。

**問** 平成28年度決算の状況は。  
**答** 平成28年度の一般会計及び特別会計の実質収支はすべて赤字で、実質収支額が5億4944万4000円と合併以来最高額となりました。(3ページ参照)  
**問** 各財政指標は。  
**答** 左記のとおり。

**平成28年度の状況 (前年対比)**

**財政力指数** →0.23(±0)  
 行政活動を行う財源をどのくらい自力で調達できるかを示すもの。1.0を超えると自力でやっていけると判断され地方交付税が交付されない。

**実質公債費比率** →11.9% (0.3%改善)  
 一般財源の規模に対する公債費の割合を示したもの。25%を超えると早期の健全化を要する。(イエローカード)

**将来負担比率** →116.3% (8%改善)  
 一般財源が将来負担すべき実質的な負債を指標化したもの。350%を超えると早期の健全化を要する。(イエローカード)



**問** 現在の市債と今後、一般廃棄物処分場及び総合体育館を建設した場合の市債は。  
**答** 一般会計、特別会計と合わせて462億1750万6000円となります。一般廃棄物処分場、総合体育館を建設した場合の市債は、およそ500億円になりますが、これまで過疎債等を活用したものは、普通交付税に算入されるため5〜6割程度と見込んでおります。新たな建設費を80億円として過疎債を財源とした場合、実質24億円程度と見込んでいることから健全な財政運営を維持できるものと考えております。

# 予算・決算特別委員会

## 二十九年度補正予算と二十八年度決算の内容をお伝えします



委員長  
木村 良博

議案第65号  
平成29年度つがる市一般会計補正予算(第3号)

**総合体育館建設費  
基本設計委託料**  
800万円

田中 透 委員

**問** 内容と業者の選定は。  
**答** 建物の概要をもとに設計図書・工事費概算書を作成し、\*プロポーザル方式により業者選定をする。委託業者の決定後、有識者及び関係団体等で構成する建設検討委員会を設置し、様々な意見を聞き事業を進めていく。

※プロポーザル方式とは…複数の者に企画を提案してもらい、その中から公正に評価して設計者を選ぶ方式

**産地パワーアップ事業費補助金**  
1030万2千円

佐藤 孝志 委員

**問** 米農家は対象にならないものか。  
**答** この事業は産地を形成し収益力強化への取り組み等を補助するもので、水稲の場合、つがる市全域が産地となり、その中で生産コストの10%の削減等を示すには農家すべての申告状況の把握が必要になるなど難しい状況にある。

**農業振興基金繰入金**  
1600万円

佐々木 直光 委員

**問** 基金を積み増ししては。  
**答** 農業振興事業、堆肥の購入、農業機械の購入の財源に充てている基金で、残金は2400万円と

なっている。過疎債を財源とし限度額があるため、財政部局と相談したいと考える。

議案第70号

平成28年度つがる市一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

※千円未満四捨五入

土地・建物売払代金

3966万6千円

佐藤 孝志 委員

問 売却した物件は。

答 あかね公園、秋桜団地3件、「旧越水老人憩いの家」跡地等を売却している。

原子力施設立地振興対策事業補助金

4200万円

佐藤 孝志 委員

問 この助成金の内容は。

答 平成26年から5年間、毎年4200万円交付予定で、28年度は森田小・中学校吹奏楽部の楽器購入費、柏小学校体育館屋根工事、車力漁港の荷さばき施設屋根改修工事、農道稲垣82号線の舗装改良

工事に充てられている。31年度以降も助成金が交付されるよう働きかけていきたい。

つがる出会い創出事業補助金

29万8千円

長谷川 榮子 委員

問 出会いイベントの成果は。

答 昨年度、つがる市民によるカップル成立が2組あった。



木造農産物加工センター費

281万9千円

長谷川 榮子 委員

問 6次産業化の取り組みを進めるためにも加工センターの規模を

拡大すべきと考えるが。

答 市としても大規模な施設の検討をしていきたいと考えている。

堆肥化施設環境影響評価調査委託料

599万4千円

成田 博 委員

問 調査内容と委託業者はどこか。

答 富范町の堆肥化施設において、県の指導により環境影響評価を実施したもの。委託業者は平川市の環境保全株式会社となっている。

宅配サービス事業補助金

850万円

伊藤 良一 委員

問 この事業の内容は。

答 街の駅「あるびよん」において特定非営利法人元気おたすけ隊が事業委託を受け宅配業務を行っているもの。宅配業務の売り上げは538万円となっている。

旧木造中央公民館講堂移築保存費

3840万3千円

長谷川 榮子 委員

問 この計画における移築場所を含めた進捗状況は。

答 移築場所について決定がされ

ていないが、今後、市指定文化財として保存、利活用を踏まえたうえで、移築場所等について早急に提示し、計画を進めていきたいと考える。

議案第73号

平成28年度つがる市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

収入未済額

4億5922万2千円

松橋 勝利 委員

問 不納欠損処分を防ぐためにも収入未済額の減少に努めてほしい。

答 公平性の観点から収納率向上は極めて重要と考え、臨戸徴収、電話催促をし、応じない滞納者に対しては調査を行い、預貯金、給料、所得税の還付金、米の交付金、出資金への差し押さえを行っている。今後は、さらに臨戸徴収を頻繁に行い、滞納の実態を把握し、早期の納税相談の実施をする。それでも徴収できない場合は、県及び青森県滞納整理機構等と共同して未済額、滞納額の圧縮に努めていく。

## 議員研修会レポート

## 地方政治の負の連鎖から脱却を

10月4日、議員団は五所川原市において開催された青森県市議会議員研修会に参加しました。

「人口減少社会における議会のあり方」をテーマとした山梨学院大学江藤俊昭教授による講演が開かれ、閉鎖的で議論もなく行政の追認機関となっている議会は、課題解決に向けた対応ができなくなり、住民からの信頼を失いかねない。そのためには、議会が持つ議決責任を自覚し、新たな課題を追求することでやりがいの向上につながり、住民からの信頼を得られると話されていました。



講演の様子

## ◆高校生議場見学

職場体験として高校生が傍聴や議場の見学に訪れます。閉会中の議場において実際に議長席や市長席、質問席に着き、質問や答弁を交わして模擬体験をしました。

### 来庁した高校

五所川原第一高校、五所川原工業高校、木造高校、五所川原農業高校の皆さん



傍聴している様子



議長役と質問者役との掛け合い



質問をしている高校生

## ◆行政視察来庁

### 【視察テーマ：つがる市立図書館について】

8月7日 東京都武蔵村山市（会派）

### 【視察テーマ：道の駅もりたアーストップについて】

10月3日 茨城県下妻市（議会運営委員会）

視察では開設に至った経緯や経費、指定管理者についてなど担当者が説明し、活発な意見交換が行われました。



意見交換の様子



図書館内を見学



挨拶をする天坂議長

## ◆議会改革検討特別委員会

視察先：青森県八戸市・千葉県柏市（7月12日～14日）

### 【八戸市研修テーマ：タブレット端末の導入について】

八戸市議会では、平成27年9月にタブレット端末の運用を開始した。タブレット端末の効果としては、膨大な紙の量を減らすことができ、印刷費の削減や事務の効率化、省電力化、議員への情報伝達の迅速化、インターネット活用による政務調査活動の充実などが挙げられる。

しかし、一方では端末を操作する本人が技量の習熟に努めなければならないことや従来のように紙資料へメモすることがタブレットにおいては容易ではないという課題もあった。

さらに、タブレット端末自体の性能・機能は日々進歩しており、今後も新しい機種が登場や、使いやすさ・性能面の向上も予想され、この技術面の進歩を慎重に見極めたうえでタブレット端末の導入を検討すべきであると感じた。

### 【柏市研修テーマ：議会改革への取り組みについて】

柏市議会では、他市に先駆けて150インチスクリーン及びプロジェクター、65インチモニター等を導入したことで、書画カメラ・ノートパソコンにより質問時の資料を映写することができ、各議席に設置した押しボタン式投票システムによる個人の賛否の状況も表示され、議会の公開性・透明性にも寄与している。

そのほか、執行部から質問する議員へ問い返すことができる「反問権」や議員提案の議案等へ他の議員が自由に意見を述べることができる「自由討議」などを取り入れており、活発な政策論争や議論をより深めることができるとのことであった。このような先進的な改革事項の取り組みは、本市議会としても参考とすべきところが多々あった。



タブレットを操作



採決システムのデモンストレーション

## ◆農業振興対策特別委員会

視察先：秋田県大潟村（7月24日～25日）

### 【大潟村研修テーマ：「大潟村チャレンジプラン」に基づく、大潟村農業の創出と所得向上のための取り組みについて】

本市と同規模の水田面積11,200haを有する大潟村では、第1次産業就労者が7割で農家1戸あたりの水田の耕作面積が15haと安定した大規模農業経営を行っているが、急激に変化する農業情勢の中、後継者不足等や減反政策への対応及び所得向上のため、様々な施策を展開しながら取り組んでいる。

#### 『先進事例』

- ①平均で水稻耕作面積が15haと安定した収入を得ているが、将来の需要にあった農業を行うため、複合経営に力をいれ、転作によりタマネギの一大産地を目指し取り組んでいる。
- ②農協等の関係機関と連携をとり、市の助成による営農指導員を農協に配置し現場での営農指導や販路拡大に成果を上げている。
- ③地元産の農産物の輸出に積極的に取り組んでいる。
- ④労働力確保のため外国人労働者受け入れのため「特区申請」するなど、対策を講じている。

大潟村でも財政事情は厳しい状況ではあるが、農業の衰退は村の存亡にかかわるということから様々な対策を講じている。

#### 【大潟村カントリーエレベーター公社の施設を視察】

大潟村農業を支える施設を視察し公社社員による説明を受け、大潟村の稲作の規模の大きさを実感することができ、本市と比較することができた。

#### 『主要施設』

カントリーエレベーター乾籾7基（3万5,000 t）、玄麦1基、ドライストアー1基（1,200 t）大豆調整施設、準低温倉庫5棟、精米工場（無洗米製造施設）、米製粉工場、有機ペレット製造施設、自主点検施設、大豆色彩選別施設、減圧赤外線乾燥機 等

大潟村の取り組みは、大規模な農地を有し人口減少が著しい本市にとっては大変参考となる内容であった。



大潟村役場にて



カントリーエレベーターにて

# クールつがる No.16

つがる市立森田小学校  
吹奏楽部の皆さん

■森田小学校吹奏楽部は平成21年の創部以来、平成26年度吹奏楽コンクールにおいて青森県大会初出場、東北大会銅賞を受賞するなど、現在まで県大会連続出場を果たしています。大会のほか、地域のイベントでの演奏など、幅広く活動している吹奏楽部の皆さんをご紹介します。

つがる市のクール（良質なものの頑張っているひとetc）をジャンルを問わず随時紹介してまいります。

- 顧問** 飯塚 敦司 先生
- 部員数** 25人（6年生4人、5年生7人、4年生10人、3年生4人）
- 最近の受賞歴** 平成28年度東北大会銅賞  
平成29年度青森県大会金賞
- 展望** 西北地区のレベルが上がって来ているので、みんなで頑張っていきたい。
- お知らせ** 平成30年2月17日(土)、森田小学校で卒業演奏会があるので来てください。依頼演奏も承ります！



金賞代表  
世界のハーモニー

弘前地区大会での集合写真



イベントでの演奏の様子

**編集室から** 吹奏楽は幾つもの音色が調和されて一つの作品が出来上がります。合奏練習では何度もやり直しをした後、上手に出来た子には全員で拍手をしてたたえ、飯塚先生は「全員が主人公」だと話していました。上手になりたい一心で練習をしている真っすぐで、素直な子どもたちを大切にサポートしていくのが、私たち大人の責務と感じました。

## これまでの議会の活動の一部を紹介します（議長・副議長・議員団）

8月	5日	チェスボローカップ水泳駅伝（前夜祭）
	11日	第6回メロン・スイカフェスティバル
	15日	つがる市成人式
	19日	つがる市盆踊り大会
	27日	馬まつりパレード・新田火まつり
	29日	議会運営委員会
9月	1日	青森県総合防災訓練
	4日	平成29年第3回つがる市議会定例会開会
	5日	つがる市福祉顕彰式
	7日～8日	定例会一般質問
	11日・13日	予算・決算特別委員会、ひょう被害現地調査(13日)
	15日	経済建設常任委員会・総務常任委員会
	20日	平成29年第3回つがる市議会定例会閉会
10月	30日	津軽まほろば会定期総会（東京）
	4日	青森県市議会議員研修会
	24日～26日	総務常任委員会行政視察（静岡県・千葉県） 教育民生常任委員会行政視察（大分県）

## 議会中継

本会議及び予算・決算特別委員会等の様子をインターネットによるライブ中継、録画中継の視聴が出来るようになりました。

つがる市議会 インターネット中継 [検索](#)

議会は手続き不要で、どなたでも傍聴できます。

次回定例会予定

12月

「こちら編集室」

かつて旧木造町には議会広報はありませんでした。つがる市になってからは、議会広報の発行が始まり、広報を通して市議会議員の活動が良くわかるようになりまし。今ではインターネットを通じて、タブレット端末等で議会の状況をライブ中継で見ることが出来る良い時代にもなりました。市民の皆様におかれましても、おおいに活用していただきたいと思ひます。編集委員会では、見やすく、わかりやすい広報を心がけ今後とも精進したいと思います。

（伊藤 良二記）

■市議会だより  
編集委員会  
委員長 三上 洋  
副委員長 田中 透  
委員 伊藤 良二  
佐々木 慶和  
佐藤 孝志  
長谷川 榮子  
佐々木 敬藏